

国マガ 57

KUNIMAGA



年越しそば
大晦日の夜に食べるそばは紅白歌合戦とともに我々地元の子を年末を支えてくれる

そばの準備が出来たぞ

あなたのお家はどんなおそば?



年越しそばを食べる風習は日本各地に見られる文化なんだけど

京都ではニシンをのせたニシン蕎麦にしたり、香川ではうどんを食べたりと地方によってずるずる特色があるんだ



昭和四十二年
子どもの国駅前

写真提供
金子智さん



半世紀前の町
今回、掲載するのは昭和42年（1967年）の子どもの国駅前（撮られた写真です。写真裏面のメモによると、写っていない手前側が駅舎で、現在のバスロータリーの辺りを収めたもののようです。この頃の国開園から2年後、この町にも時代の移り変わりを感じさせる風景がありました。目を引くのは現代ではなかなか見ることのない草葺（くさぶき）屋根の家屋。右手には今も駅前の建物で営業している食堂・金子園が見えます。食堂の佇まいやコカ・コーラの看板に「なんだかノスタルジーを覚えてしまいますね。」

でも、町の変化がわかるものであればかまいません。応募してくださる方は左記の国マガメールアドレスまで、写真の画像データを添付し、写真の撮影時期・場所・まつわるお話など詳細情報を記載しメールをお送りください。必ずしも記事にできるわけではありませんが、掲載時には取材などをお願いする場合がありますのでよろしくお願ひします。

懐かしい写真募集!!

この町の思い出を記録した写真を募集します。今はもうなくなってしまったものやお店、昔の行事などの写真のデータをお送りください。
↓メールアドレスはこちら!
kunimaga920@gmail.com

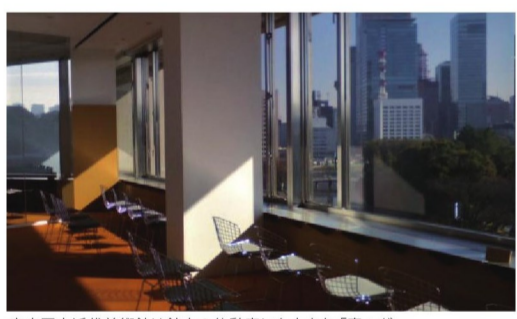


オオキ 長男
奈良北にあったショッピングセンターの写真をどなたかお持ちではないですか。小学校から帰ったらお小遣いを持ってみんなで集まった思い出の場所です。

2020 年も国マガをよろしくお願ひします!

国外 ART information

身近な「窓」から 見えてくるもの



東京国立近代美術館は館内の休憩室にも大きな「窓」が。

窓をめぐる14の旅
新しい年がやってきます！この年末年始には、新しい風を吹き込む「窓」を覗くような展覧会などはいかがでしょうか。現在、東京国立近代美術館で開催中の展覧会のテーマは「窓」。絵画の中に描かれることもなく、実は様々な役割を担っています。窓から入り込む光は画面上に陰影を生み、外の存在

を意識させます。また、描かれた窓の外の景色に、暗喩的に様々なものが描かれることも。「窓」は外光や空気を室内へ取り入れるというだけでなく、外と内の境界線としても存在し、時に作品世界の中で大きな舞台装置としての役割を持つのです。

この「窓展・窓をめぐるアートと建築の旅」は、窓というものを様々な視点から紹介している意欲的な展示です。本展は「窓学」を主宰する一般社団法人 窓研究所とタッグを組んでいます。この窓学とはなんぞや、という「窓は文明であり、文化である」という思想の元、窓について研究する学問だそう。ここでは、マティスやクレールといった20世紀の画家たちによって絵画に描かれた窓を目にできるだけでなく、写真や版画映像、インスタレーション、建築といった様々なテーマごとに14の章で構成されており、多角的

「窓」は私たちの身近にあるものです。この展覧会では、こころの窓をいつもより大きく開くことで、これまでとは違う視点で周囲を見渡すことができるかもしれません。

に「窓」について考えることができるようになっていきます。窓の歴史をめぐると、建築家によるドローイング他、現代作家による作品も多数展示されています。個人的に特に興味深いのは、架空の入国管理局を設置し、鑑賞者は係員に「あること」をしないと先に進めない（？）というもので。この作品では、入国管理局を世界に開かれた窓という観点で取り上げています。どうやら、私たちが思っている以上に、たくさんのものを窓と見立てることもできるようなのです。



ムラウチミレイ 美術館スタッフ
当館の「眺めのよい部屋」という、大きな窓から皇居や東京の街を見渡すことができるスポットもおすすめです。また今回からご厚意で量がどっと増加しておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

子どもの国周辺 イベントカレンダー

- 2020 JAN
- 1/19 たき火広場
 - 1/26 たき火広場
 - 1/26 冬の野鳥観察会
 - 1/25 須川展也のサクソフォン・ワールド!
 - 1/26 工作教室 鬼のお面
 - 1/27 まちづくりプラン改定原案への意見募集メチ

- 2020 FEB
- 2/1 ギタリスト 荘村清志「ギターとともに50年」
 - 2/2 冬の野鳥観察会
 - 2/6 元気の出る家族教室
 - 2/26 世界の郷土料理を召し上げろ ロシア編
 - 2/26 スケート場最終日
 - 2/29 孔雀調べる隊になろう
- ...子どもの国 ●...青葉区役所・公会堂
■...奈良地区センター ■...フィリアホール
▼...その他
- 町の情報提供: ナカタク

あけましておめでとうございませう！ 2020年も『国マガ』をどうぞよろしくお願ひいたします。
今年の冬の子ども国にも、寒いなかでの楽しさがいっぱいあります。焚き火にありながら、マシユマロやサツマイモを焼ける「たき火広場」が1月19日と26日に、観察員の説明とともに、子ども国国森で、冬の野鳥を楽しめる観察会が1月26日に開催されます。
子ども国では2月26日まで、スケートも楽しめま。私も昨年、子ども国のスケートリンクで25年ぶりに久しぶりにスケートをやったのですが、数えきれないほど尻もちをついたうえ、翌日はこれまでに経験したことのない場所が激しい筋肉痛に襲われました。
1月27日は、「田園都市線駅周辺のまちづくりプラン」の改定原案への意見募集の締切です。「区民生活の魅力を高める身近な拠点として、駅周辺のまちづくりの方向性を明確化し、区民、事業者、区・行政の3者が共有化し、実現に向けて協力して取り組んでいくものとして策定」というものですが、青葉区のHPでプラン改定原案を読んで町づくりに意見のある方は、まちづくり調整担当に電話（045-978-2410）、またはメールをしてみては。無関心だとあなたの町にもカジノが出来てしまうかも。
そして、今年の『国マガ』は色々仕掛ける予定ですので、どうぞよろしくお願ひします！（安原）



加藤シュンスケ（表紙を描いた人） イラストレーター
3月末まで上海で仕事することになってしまったので、今ちょうど冷蔵庫の中を空にするためにゆで卵を5つ食べています。

函館公園こどものくに



北海道、函館にも「こどものくに」がある。



全部で12のアトラクションがあるが…




この観覧車は、1950年製の現存する中で、日本最古のものである。



平日 午前11時～午後4時
休日・祝日 午前10時～午後5時
※雨天時は休園

入園料 無料
アトラクション代 1人1回 300円

2008年長津田車両工場にて








やきそば 会社員
観覧車は、2019年7月に国の登録有形文化財に登録されることが、文化審議会により発表されました。

コラム

引込井線 育ち

サリー志村

サキヤマさんのバス

いま住んでいる家は、大きなターミナル駅からバスで15分くらいのところにある。職場まではバスと電車を乗り継いでいるわけだが、バスは電車と違い、運転手の個性がその走りにあらわれることを実感している。電車はレールの上を走り、止まる位置も決まっている。鼻にかかった声のアナウンスまで同じだ。対してバスは、運転手によってさまざまで、わが路線には、スピード狂気味の者、とても優しくブレーキを踏む者、運転しつつ器用に鼻をほじる者などがある。

なかでもサキヤマさんがすごい。アナウンスがすごい。夜、その運転に出会うことが多いが、各バス

亭に何時につくかをいちいちのべ、「今日も遅くまでお仕事ご苦労様でございます」といい、金曜日の夜には「週末をごゆっくり御お過ごしください」なども付け加える。

ある朝、珍しくサキヤマさんのバスに乗った。この日もバス停に止まるたび、「おはようございます、晴れた気持ちの良い朝です」と丁寧のアナウンスしていく。バスは進み、ターミナル駅の終点を残すのみとなったが、その手前の長い信号にひっかかってしまった。「本日も市バスをご利用いただきありがとうございます。間もなく終点です……」とお決まりの文句をゆっくりのべる。まだぜんぜん信号は赤。オレは緊張してきた。すると先の内容を「Thank you for～」と英語

でしゃべりだした。流ちょう！だが、まだ冷酷無慈悲にも信号は変わってくれない。もうアナウンスすることはないだろう……となったとき、「このバスは青と白でカラーリングされていますが、今朝のような素敵な空をイメージしています」と車体を解説しだしたのだ！そして、「今日もいってらっしゃいませ」と言い終えたあと信号がぴったり青に変わった。お見事！と立ち上がって拍手をしたくなったが、車内の他の人は意外に平然としていた。感動したのはオレだけ？ こういう「頼まれていないけど仕事を愉しくブラッシュアップしている人」を見つけるとオレはむしろ嬉しくなってしまうのだ。



サリー志村 編集者

寒くなってきましたね。上着を買いにいきましたが、どれも暖かそうなのはダウンばかり。ダウンが普及するまえ、われわれ、冬は何着てたんでしたっけ？

この町の記憶

安原まひろ



寒い日

寒い日だった。私はパンを買いに、枯れた並木の通りを歩いていた。今日は年が明けてから一番の冷え込みらしい。鼠色の曇った空は、そのことをしっかりと伝えていた。

空模様と相まって、この街の景色は、40年前に暮らしていたパリにますます似ているように感じられた。あの街の冬は、佐伯祐三の絵のような、くすんだ灰色の空が支配する。

高校時代に、ブルーストという奇妙な作家の、奇妙に長い小説と出会って以来、小説を書くことに私は没頭した。大学でフランス語を学び、パリに渡った。

文学を志した者の多くは、その拘泥故に、悲劇的な宿命と、敗者の美学を背負わされるが、私は例外だった。パリに渡ったことで、多くの人種が入り混じり、混沌の中でも歴史を紡ごうとする国のあり方を見ることが出来た。視野が広がり、小説を書くことの矮小さと自己欺瞞に気がつけたのだ。

帰国した私は、フランスで出来た伝手で、ワインの輸入販売を始めた。将来への不安がない程度の稼ぎができた。今は、この郊外の街で、日々の小さな楽しみを踏みしめながら、大いなる余生を堪能している。あの過ぎ去ったパリの風景とこの街を、今日のような日に重ねるとき、私は人生で何かしらをやりきった人間ならではの幸福に満たされる。それは、あの頃の無謀な情熱を忘れられたことの幸福でもある。

何かに類似を見いだせるということは、人間の美徳だ。「誰それが誰それに似ている」と言ってみても、現実の二人の間には長い距離が横たわっていて、別物であることが強く刻まれているはずだ。それにも関わらず、心の情動が「似ている」を導いて、本来異種であるはずのものごとに親近感を与える。私も、過ぎ去ったパリ景色との類似を、この街に見出す優雅で豊かな遊びを手に入れた。

坂の途中にあるこの街のパン屋のバゲットの味は、パリで毎日のように通ったパン屋に、少しだけ味が似ている。このバゲットとともに、私は今晚もつましくワインを飲むのだ。

パン屋の店主と今日の寒さの話をし、買ったバゲットを抱えて店を出た私は、公園を通り抜けて帰ることにした。リュクサンブール公園とはいかないまでも、なかなか趣のある公園で気に入っている。

向こうから、小さな娘と母が歩いてきた。娘は泣いていて、母が少し強めの語調で諭している。

「どうしてクマちゃん無くなったの？ 誰かが持っていたの？」

「公園に忘れたヒナちゃんもいけないうのよ。今度から気をつけなさい」

「忘れる前の私に戻って注意したい、忘れないようにつけて」

母娘とすれ違い、私は遠ざかっていく声を後ろに聞く。

私は、横浜の郊外にある住宅街の公園を歩く歩を少しだけ早めた。夕方になって一段と、寒さが増してきたようだ。



安原まひろ 編集・ライター

実は、国マガの誌面 DTP は毎号、細かい所も含めて常にアップデートしています。今回もミレイさんのコーナーが拡大、生物のように進歩しつづける誌面を目指したいです。

国マガ配布店

- 【こどもの国地区】●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●こどもの国のくすり屋さん(薬屋) ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム/ソーセージ) ●炭火焼肉はち(焼肉) ●スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ●nagakutsu(イタリアン) ●なごみ(そば) ●奈良地区センター ●Bacchus(イタリアン&バー) ●パドル&ブリュー(コーヒー) ●MONT(パン)
- 【奈良北地区】●かつ元(とんかつ) ●Coonie(パン) ●コンレマーニ(クラフト&カフェ) ●昭和書房(本/文具) ●街の家族(コミュニティハウス) ●felicea(美容室)
- 【長津田地区】●鈴幸ハウス 横浜長津田支店
- 【青葉台地区】●KOGA(美容室) ●COPPET(パン) ●鈴幸ハウス 青葉台支店 ●SoulCocktail's AOBADAI(バー) ●246亭(ラーメン)

国マガからのお知らせ

57号はいかがでしたでしょうか？ 2020年が始まりました。読者の皆様、今年もご愛顧いただきありがとうございます。昨年は新しいメンバーに加わってもらいました。ミレイさん、やきそばさん、面白いでしょう？ 彼女たちの個性が加わってさらに楽しくなってきました。卒業した人もがんばっていて、卒業したおぎぬまXくんが、なんとギャグマンガの賞、赤塚賞を受賞しました!! すごい！今年で国マガも8年目に突入です。もっと面白くなっていきます。というわけで、また来号!

おしらせ

- ホームページ! すべての情報はここで!
URL: <https://kunimaga.jimdo.com>
- 次号の国マガの配布日はだいたい3月1日です。

こどもの国系情報誌「国マガ」国マガ Vol.57
発行日 2020年1月15日
発行人 サリー志村
デザイン ヨシミユキ
DTP 安原まひろ
顔イラスト 柏木翔子 ムラウチミレイ
連絡先 kunimaga920@gmail.com
Facebook <https://www.facebook.com/kunimaga/>